

令和6年度上半期 農業公社業務中間実績特集

【農業公社だより第4号の発刊によせて】

今年も残すところ一ヶ月となり、皆さま大変お忙しいことと存じます。

佐賀県農業公社では11月に本年度第3回理事会を開催し、事業計画の変更等を決定し、また12月の大きい行事として、農地の賃貸借料を約1,100人の借主の方々から引き落としをさせていただき、一旦公社で預かり、貸主の方々約7,400人に遅滞、間違いなく振り込むという、大事な業務を進めています。



令和6年度第3回農業公社理事会(11/19)

このデータ整備につきましても日々変更があり、昨今DX化が謳われていますが、一朝一夕にできるものではありません。また、令和7年度からは、「市町の相对貸借」が一本化され、取扱い件数がさらに多くなりますので、県、市町、農業委員会関係各位の連携、ご協力をよろしくお願いいたします。

今回は、11月19日の理事会で報告した令和6年度の各事業の実績について紹介します。(総務売買部長 村岡)



佐賀市トレーニングファーム (ほうれんそう)



ピーマンチャレンジファーム (佐賀北部)



三神いちごトレーニングファーム



J Aさが みどり地区トレーニングファーム (きゅうり)



同左 (トマト)



J Aさが白石地区いちごトレーニングファーム



J Aからつトレーニングハウス



J Aからつ佐賀牛いろはファーム (繁殖牛)

【表紙写真】

県内のトレーニングファーム研修生募集資料などから、トレーナー農家や研修生などの写真を掲載させていただきました。

これらのほか、佐賀市アスパラ部会トレーニングファーム(本年度募集終了)、伊万里市園芸団地でも研修生を募集されています。

県内トレーニングファームの最新の研修生募集状況は、左のQRコードからご確認ください。



1 農地中間管理事業

【令和6年度上半期実績】



農地中間管理事業により令和6年4月から令和6年9月末に借り入れた面積は406ha、同期間で貸し付けた面積は428ha(利用権の始期ベース)となっており、農地の貸付面積は計画対比59%となっています。

□農地中間管理事業の区分ごとの実績

区 分	借 受		貸 付	
	出し手 (経営体)	面 積 (ha)	受け手 (経営体)	面 積 (ha)
計 画	1,000	700	550	730
R6年9月末現在	765	406	349	428
進捗率	77%	58%	63%	59%

園芸団地の管理農地など	
出し手 (経営体)	面 積 (ha)
60	17
26	7



【今後の動向】

農地中間管理事業については、令和6年度末は借受・貸付ともに計画達成が可能と見込んでいます。

農業経営基盤強化促進法等の一部改正(令和5年4月1日施行)を踏まえ、市町・市町農業委員会が作成される地域計画について、県、農業会議、JA等関係機関と共に支援を行っていきます。

また、法改正によって市町が実施していた農用地利用集積計画が農用地利用集積等促進計画へ統合されることによって、業務量の大幅な増加が予想されることから、引き続き県、市町、市町農業委員会、JA等関係機関・団体との更なる連携強化を図っていきます。

令和7年度から、賃料に係る手数料を徴収することから、利用者への周知に努めるとともに、円滑な手続きができるよう事前周知と事務の効率化に取り組みます。

一本化に向けて

【農地中間管理事業の一本化に伴う説明会の開催】

10月29日(火)佐賀市内において令和7年度に向けての「農地中間管理事業に係る市町等説明会」を開催しました。

市町、市町農業委員会をはじめ、農協等関係機関など約120名の参加がありました。

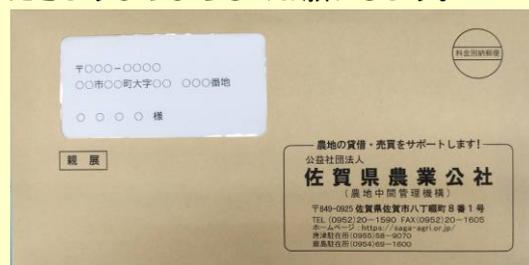


農地賃借料のお知らせ

農地中間管理事業では、毎年11月に農地の受け手と出し手の皆様に賃料に関するお手紙を郵送しています。年に一度の「大切なお知らせ」です。

受け手約1,100通、出し手約7,400通の大量の封書を公社全職員で手分けして、印刷から封筒詰め、発送させていただきました。

受け取られた皆様には、年に一度のご自分の賃借について、あらためてご確認いただきますようよろしくお願いいたします。



2 農地売買等特例事業



【令和6年度上半期実績】

令和6年度上半期(9月末)の実績は、買入・売渡とも計画比で、件数及び面積は5割から6割程度に推移しているものの、農地価格の低下に伴い価格は4割から5割と大きく低迷しています。

事業区分別では、国庫事業、県単事業は順調に推移していますが、公社単独事業は低迷しています。

□農地売買特例事業の事業区分ごとの実績

令和6年度9月末現在

区 分		買 入			売 渡		
		件数	面積(ha)	価格(千円)	件数	面積(ha)	価格(千円)
国庫補助 事業	計 画	85	40.00	288,000	89	42.00	302,400
	実 績	58	27.24	167,996	53	23.64	142,626
	進捗率	68.2%	68.1%	58.3%	59.6%	56.3%	47.2%
県単補助 事業	計 画	15	7.00	50,400	15	7.00	50,400
	実 績	9	6.64	41,409	9	5.98	36,091
	進捗率	60.0%	94.9%	82.2%	60.0%	85.4%	71.6%
公社単独 事業	計 画	20	9.00	64,800	21	9.50	68,040
	実 績	5	1.55	8,904	4	1.48	10,220
	進捗率	25.0%	17.2%	13.7%	19.0%	15.6%	15.0%
合 計	計 画	120	56.00	403,200	125	58.50	420,840
	実 績	72	35.43	218,309	66	31.10	188,937
	進捗率	60.0%	63.3%	54.1%	52.8%	53.2%	44.9%

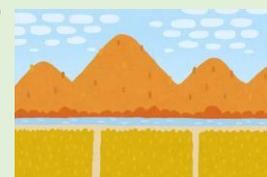
【今後の動向】

資材高騰等により農家の購入マインドが低下している状況にありますが、売りたいという要望は多いと聞いており、農業委員会への巡回による掘り起こし等により、計画達成を目指します。

また、法改正は7年度から本格移行となり「農用地利用集積等促進計画」の作成、公告方法等が変更となることから、農業委員会、市町、県との連携強化を図りスムーズな移行を目指します。

さらに、これまで取り扱いがなかった4市町の唐津市、鳥栖市、基山町、白石町が公社扱いとなることから丁寧な対応準備に取り組むとともに、大幅な業務拡大が見込まれることから、今後の事務の正確化、効率化の検討を行ないます。

法改正経過措置後の円滑な事業取組みを目的とする農業委員会売買担当者等を対象とした「農地売買等特例事業研修会」を12月25日(水)に開催します。



3 園芸団地整備・運営事業

【令和6年度上半期実績及び今後の計画】

○武雄市園芸団地

武雄市朝日町中野で、入植者2名のきゅうりの低コスト耐候性ハウス7,040㎡の整備を進めています。

天候にも恵まれ、工事は順調に進み、現在、本体工事が終了し、被覆工事の施工が進んでいます。

今後、内部の設備工事等が進められ、令和7年1月末には完成の見込みです。



(本体工事の施工状況)

○白石町園芸団地

県の「さが園芸888整備支援事業」を活用し、いちごのAPハウス3棟4,740㎡（高設栽培）の整備に取り組んでいます。

9月30日には、入植者3名や工事関係者ら20人が参加して、工事の安全祈願祭が開催されました。

当社の鍵山専務は、工事の無事故を祈るとともに、「入植後は産地のけん引役として成長してほしい」と入植者を激励しました。

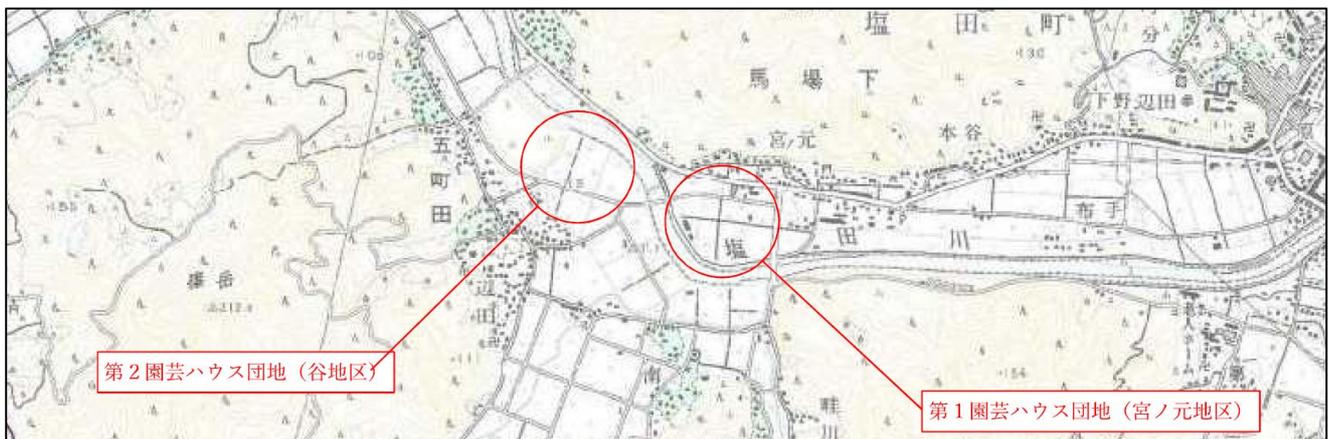


(工事の無事故を祈願する参加者)

○嬉野市園芸団地

嬉野市では、同市塩田町に園芸団地「スマートアグリ宮ノ元」を整備されています。同団地で全区画の入植が決まったことから、第2弾として近隣の谷地区約3haに6区画を整備する計画です。

このうちの1区画を当社が令和7年度に施設整備することになり、業務を円滑に進めるため、令和6年11月1日、嬉野市、佐賀県農業協同組合、佐賀県、当社の4者で基本協定書を締結しました。本協定に基づき、関係者が役割・責任を発揮して、取り組んでいきます。



(嬉野市園芸団地の位置)

4 就農支援事業

【令和6年度上半期実績及び今後の計画】

本年度上半期(4月から9月まで)の当農業公社でお受けした就農相談は、23件(昨年度同期21件)でした。

資材価格の高止まりの影響なのか、露地野菜や果樹に関する相談件数が増えているようです。

農業公社がブース出展する、本年度今後の主な就農相談イベントは、以下のとおりです。

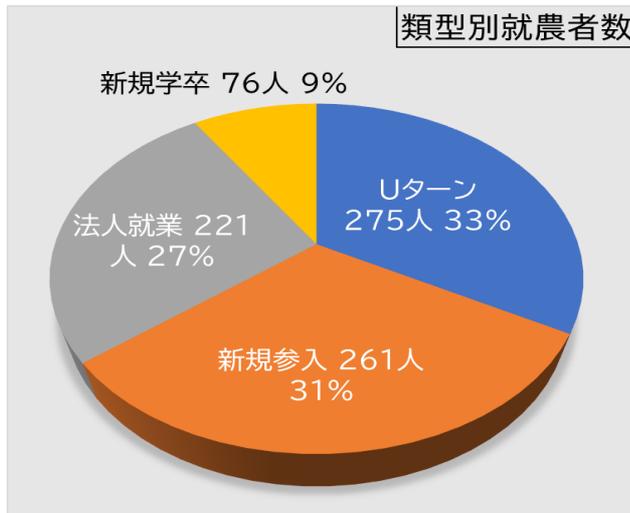
- ・令和6年12月8日(日) 東京ビッグサイト (新・農業人フェア)
- ・令和7年2月8日(土) 福岡ファッションビル (農林水産FEST)



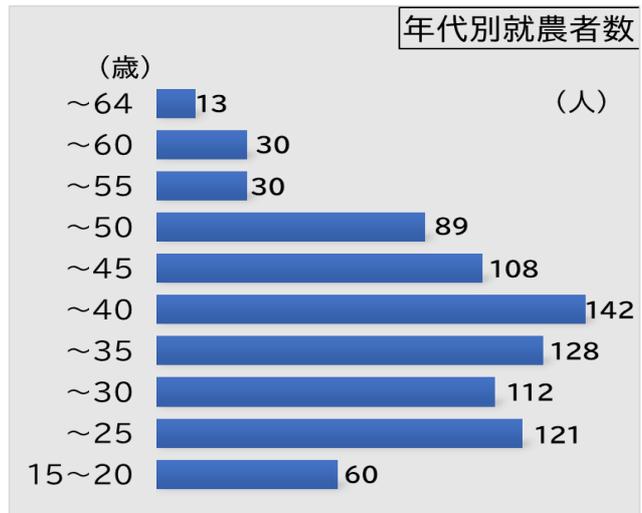
数字で見る就農 (佐賀県農業経営課調べ)

過去5年間(令和2～6年)佐賀県の就農状況

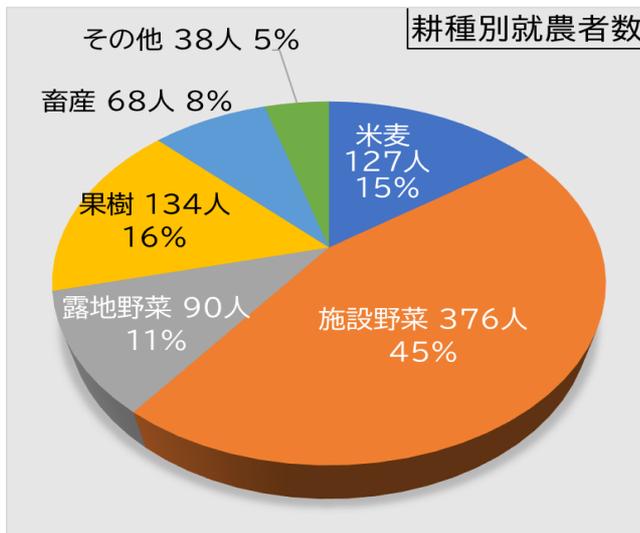
類型別就農者数



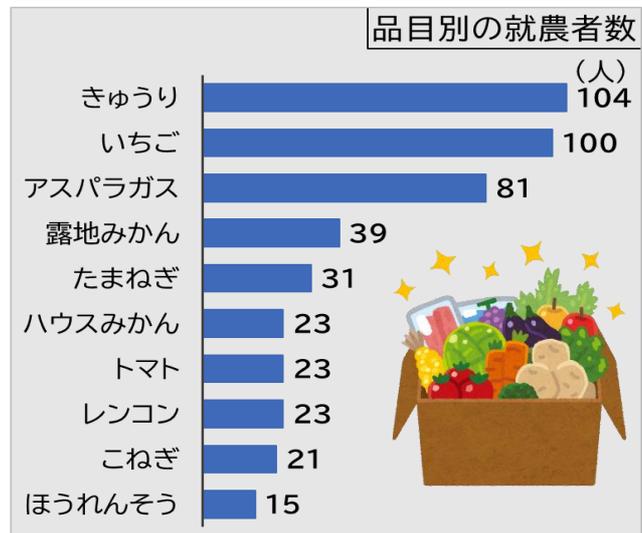
年代別就農者数



耕種別就農者数



品目別の就農者数



新規就農5年後の定着率(5か年平均)

(単位:%)

